

Sophians Now



SOPHIA ALUMNI ASSOCIATION 7-1, KIOICHO, CHIYODA-KU, TOKYO 102-8554 JAPAN
 上智大学ソフィア会 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL 03-3238-3041 FAX 03-3238-3028
 ソフィア会ホームページ <http://www.sophiakai.jp/> E-mail:jimukyoku@sophiakai.jp
 発行/上智大学ソフィア会 発行人/和泉法夫 編集人/宍戸周夫 発行日/2009年5月10日

2009年春号目次

- P1 新ホームページを開設
オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb
- P2 春季全国代議員会Report
- P3 上南戦50回記念大会
- P4~5 Memories - 恩師への謝辞
- P6 Event Report
- P7~10 ALL SOPHIANS' FESTIVAL2009
- P11 母校への貢献
- P12~14 ソフィアンの広場
- P15 News & Information
- P16 お知らせ

上智大学創立100周年に向け、記念事業推進体制を確立

新ホームページを開設 「オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb」

今、私たちソフィア会の最大のテーマは「上智大学創立100周年」といっても過言ではないでしょう。母校・上智大学は2013年に創立100周年を迎えるが、この一大イベントはもちろん大学だけのものではありません。その歴史を“身をもって”体験してきた卒業生、そしてその卒業生の全学同窓会組織であるソフィア会こそが主体的に行動することが求められているのです。

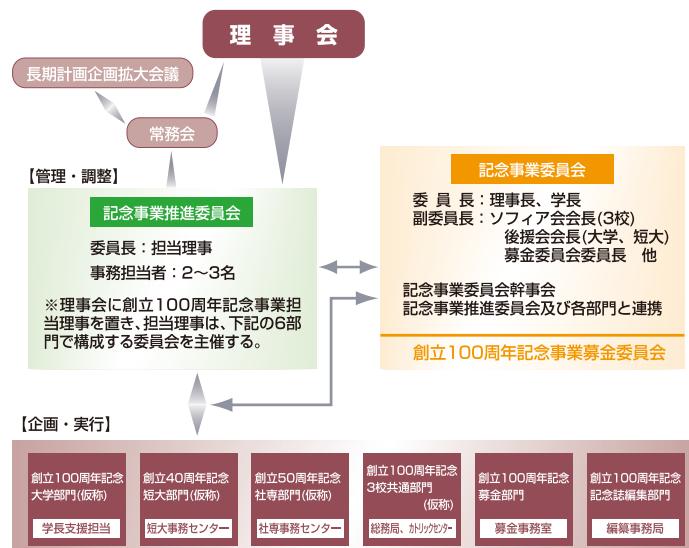
そこで、100周年にあと4年とせまった今、ソフィア会は新たなホームページ「オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb (ASCAムーブメントWeb)」を立ち上げました。今すぐ、<http://www.sophiakai.jp/>をクリックして下さい。今後、100周年に向けてより多くのコンテンツを、このインターネット上の空間に結集していきます。

上智学院はこのほど、上智大学創立100周年に向けて記念事業委員会を設置、さまざまな記念事業の企画と実行に向けた推進体制を確立しました。下の図にあるように、同委員会では上智短期大学や上智社会福祉専門学校の卒業生も一体となって数多くの英知を結集、記念募金や記念誌編纂などに取り組むことを打ち出しています。

ソフィア会も昨年から「ソフィア・ルネッサンス」というコンセプトとともに具体的な取り組みをスタートしていますが、こうした大学側の取り組みに合わせ形で、いよいよ100周年の基盤となる新ホームページ「オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb (ASCAムーブメントWeb)」をオープンしました。

このASCAムーブメントWebは、従来のソフィア会ホームページと異なり、あくまで上智大学創立100周年を前面に掲げたものです。100周年という記念すべき「里程碑（マイルストーン）」に照準を合わせ、インターネット上に会員相互の交流の促進や大学へのシンパシーを高めるさまざまなコンテンツを結集。母校の創立100周年記念事業に貢献します。

そのため一般的なホームページと異なり、100周年に向けて実利的な成果を得るための仕組みを盛り込んでいます。それが、このASCAムーブメントWebの最大の特徴といえるでしょう。



100th Anniversary Movement



● “インターネット上の銘板”に名を刻む

たとえば、同Webのメイン・コンテンツと考えている「Memories—恩師への謝辞」(4~5ページのWeb運動企画を参照して下さい)では、いわゆる名刺広告のような形で、お世話になった恩師への感謝や思い出、エピソードを語ることで、募金ができます。つまりは“有料”で謝辞を述べるということですが、それは募金の銘板に名前を刻まれるごとく、多くの卒業生にとってきわめて名誉なことではないでしょうか。

この「Memories—恩師への謝辞」というインターネット上の銘板が多く卒業生で埋め尽くされることが、100周年記念を成功に導く原動力となります。同時に、このASCAムーブメントWebでは、前回の「ソフィアンズナウ」(第164号、2008年秋号)でも紹介したように、今後数多くのコンテンツが掲載されていきます。2013年の上智大学創立100周年に向けてASCAムーブメントWebをみなさまの手で育て上げて下さい。

オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb
(ASCAムーブメントWeb)

<http://www.sophiakai.jp/>

「第1回卒業生募金委員の集い」を開催

上智学院は創立100周年記念事業推進体制を確立、そのキックオフ・ミーティングの形で4月18日(土)午後1時から3時前まで、上智大学国際会議場(2号館17階)において第1回卒業生募金委員の集いを開催しました。

当日は、高祖敏明上智学院理事長、石澤良昭上智大学学長、和泉法夫ソフィア会会长の募金活動にかける決意の表明に続き、フランス語学科同窓会、グリークラブOB会、柔道部OB会、パール祝(卒業30年の集い)、ピタウ先生傘寿の会など各卒業生の団体やイベント主催団体から、募金への取り組みが紹介されました。

また、募金委員会の特別顧問である諸橋晋六氏(元ソフィア会会长)、ヨゼフ・ピタウ大司教、さらに細川佳代子ソフィア会副会長が出席、寄付文化についてスピーチしました。



上智大学創立100周年に照準 2008年度緊急学生支援奨学金1,000万円を決議

ソフィア会は4月18日(土)午後3時から、上智大学L号館(中央図書館総合研究棟)911会議室で、2009年上智大学ソフィア会春季全国代議員会を開催。当日は、全国の代議員約230名が出席、2008年度決算および2009年度予算案が承認され、5月31日(日)に開催される会員総会で決議されることになりました。また、ボランティア活動拡大や経費節減で生まれた余剰金1,000万円を2008年度緊急学生支援奨学金に充てることを全会一致で決議しました。



8つの2009年度重点施策を提唱

代議員会では冒頭、和泉法夫ソフィア会会長が2008年度重点施策をレビュー。この中で、①総務・財務・組織・広報など各専門委員会の積極活動により新たに1,000万円を積み立て、ソフィア会基盤を強化、②地域・各種ソフィア会との連携強化で、100周年記念事業への協力体制強化、③従来のソフィアンズナウに加え、新たにハンドブックの制作やASCAムーブメントWeb



立ち上げなど広報活動の強化、などこの間の取り組みを説明しました。

続いて、2009年度の重点施策として、下に示した8つの項目を説明。特に、創立100周年の2013年度までに募金目標である10億5,000万円を達成するため、卒業生の募金委員会員と募金参加率向上を図ることなどを提唱しました。

「100周年は卒業生とともに」と高祖理事長、石澤学長が挨拶

続いて、来賓として出席された高祖敏明上智学院理事長が挨拶。「ソフィア会と同様、大学にも2009年度は8つの重点施策があります」として、生涯アドレス(16ページ参照)や上南戦50回記念大会(3.15ページ参照)、そして100周年記念事業推進体制の確立(1ページ参照)などを紹介。

高祖理事長に続き、石澤良昭上智大学学長が来賓として挨拶、「上智大学の社会的評価はソフィアンの評価につながります。みなさま一人一人の社会での活躍が上智のブランド化につながり、今年は多くの大学が受験生を減らしている中で、上智大学は受験生を増やすことができました。創立100周年記念事業は大学だけでできるわけではありません。みなさまにも積極的に参加していただきたい」と卒業生の協力を改めて要請しました。

1,000万円の奨学金を拠出。学生に緊急支援

今回の代議員会では、議題として①2008年度決算報告と2009年度予算案、②ソフィア会会則の一部改正、③シニアソフィアンズクラブの継続、④緊急学生支援奨学金、⑤組織7団体の追加が和泉会長から提案され、それが報告通り承認されました。

このうち、緊急学生支援奨学金はソフィア会の前年度の余剰金1,000万円を使いきりで1年間のみ支援するというもの。給付金は一人40万円で25名をソフィア会が面接で選定し、昨今の景気悪化の中で苦況にある学生を支援する目的があります。これについては出席代議員が拍手で承認、来賓として出席されていた高祖理事長、石澤学長も謝意を表明されました。

ハンドブック発刊のお知らせ

ソフィア会としては初の試みとなる「ソフィア会ハンドブック2009」をこの全国代議員会に合わせて発刊しました。B5版32ページのオールカラー刷りで、ソフィア会の行事や地域・各種ソフィア会の紹介、ソフィア会の仕組み、歴史などを分かりやすく説明しています。地域・各種ソフィア会にはお送りしますが、ソフィア会の新ホームページ(<http://www.sophiakai.jp/>)ではデジタルブックとしてご覧いただけます。



ソフィア会の2009年度重点施策

- 1 上智大学の100周年記念事業への積極的参画と募金協力強化
2013年度までに10億5,000万円募金(現在40%協力達成)に向けて卒業生の募金委員会員と募金参加率向上(5,000人から10,000人へ)募金グッズ/ショッピングアリエイト/僕のルール募金等を通じて裾野拡大上智大学の100年記念事業部会に卒業生の参画
- 2 各種地域ソフィア活動に対する連携体制を推進し上智大学創立100年記念事業への協力体制を強化する地域(国内)ソフィア会全国大会実施生涯アドレスの配布スタート(方法は大学と協議して決定)地域各種ソフィア会へ各種協力の強化(名簿/Webエントリー等)
- 3 オールソフィアンの100周年ムーブメントと広報活動Web戦略の強化を通じて平成卒業生のソフィア会行事や各種地域ソフィア会への参加率を高める運動展開
- 4 学生支援態勢強化と学生との連携企画の充実上南戦50周年記念行事を皮切りに体育会等への支援態勢強化上智新聞などを通じて学生へのメッセージ強化100周年記念事業 連続講演会実施
- 5 ソフィア会活動の迅速化、活発化に向けて事務局体制を強化
- 6 ソフィアンズカードの参加率を上げソフィア会活動基盤を強化する4,085人から1万人参加へカード会社との連携企画
- 7 ソフィア会の健全な発展に向けて維持会費(任意)の協力依頼を強化。2000人600万円
- 8 未来に向けてソフィア会基金として年間1000万円積み立てを継続してソフィア会基盤を強化する2009年度末4億2,000万円目標

2009年度定時会員総会のご案内

ソフィア会は2009年5月31日(日)午前11時から上智大学10号館講堂において、2009年度上智大学ソフィア会定時会員総会を開催します。議題は「2008年度活動報告・決算及び監査」、「2009年度活動計画及び予算」、「ソフィア会会則の一部改正」、「シニアソフィアンズクラブとその継続」、「緊急学生支援奨学金」、「組織団体の追加について」など。また「募金活動や維持会費の状況」、「ソフィア会100周年記念事業について」なども報告します。なお、当日は10時30分から金銀銅祝式典を開催していますので、時間帯については若干の変更を考慮してください。



上南戦50回記念大会を6月5日～7日に開催 全学休講で、開会式は代々木第二体育館



1954年(昭和29年)の南山大学との野球部対抗試合。
バッターが中島さん(上智大学グランドで)。

中島貞夫さん(硬式野球部、1955年卒)

1953年(昭和28年)秋にわれわれ野球部をはじめバレーボール部などいくつかの部が名古屋まで遠征し、交歓試合を行ったのが現在の上南戦の先駆けになったと思っています。

東京駅午後6時発の各駅停車に乗り、翌朝の5時に名古屋に着きました。着いた早々試合で、太陽がまぶしくてまいりました。翌年には南山側が上京し、真田掘で戦いましたが、1960年に当時の大泉孝学長の肝いりで全学対抗試合として再開したのが上南戦の第1回大会で、今年50回目を迎えるわけです。

浅野忠則さん(ラグビー部、1968年卒)

ラグビー部は1955年から独自に南山と交歓試合を行っています。その後、正式に上南戦となってからも含めこれまで44勝8敗2引き分け。当初は上智ラグビーの創部に関わっていた山室先生と南山の小松先生というお二人に因んで「山室・小松杯」といっていました。われわれのころにはそのカップは行方不明になっていたのですが、それがつい先日部室から出てきましたので、それを今年からまた使おうということを、OB会で話しています。

こうした南山とのつながりで、今は菅平で行う夏の合宿は上智と南山は同じ宿舎で行っています。上南戦ではこの3～4年は負けが続いています。このところは、上南戦にかける南山の意気込みを感じています。今年は南山に負けない強い意気込みで勝ちに行きます。

槇原尚樹さん(サッカー部、1970年卒)

10年くらい前から、上南戦にかける南山の意気込みはすごいですね。名古屋の地下鉄や首都圏の電車に上南戦の中吊り広告を入れたり、前マルクス学長が先頭に立って学生を鼓舞してきました。それでこの10年くらい上智は分が悪いのです。

サッカー部に関しては、昭和30年代、40年代の上智は関東の二部リーグにいましたので、上南戦というのは勝って当たり前という時代でした。私は1年のときに名古屋に行ったことを覚えています。それまで上智のサッカー部は4対0、5対0という勝ち方をしていたのですが、その年は勝ったもののスコアは1対0で、先輩にものすごく怒られ、坊主にされたことを覚えています。



後列左から浅野忠則、武井暁彦、槇原尚樹、瀧野多美子、鈴木正彦の各氏。
そして中央は中島貞夫氏。

上智大学と南山大学が毎年開催してきた上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)は、今年50回目の記念大会を迎えます。1960年に第1回を開催してから、今年がちょうど50回目。1年ごとにお互いの大学を会場として開催しており、今年の記念大会は上智大学がホームとなります。

大学もできるだけ多くの学生に上南戦に参加してもらうと、大会初日の6月5日(金)を全学休講としました。また、50回記念行事ということで、開会式も初めて学外の施設を利用、東京・代々木の第二体育館で行なうことが決まっています。同体育館は2,000人の観客が収容可能で、大学では「天候に左右されることなく盛大な開会式を開催できる上、より多くの一般学生、教職員、ご父母、卒業生などによる応援が可能となる」と期待しています。

そこで上南戦に格段の思いを抱くソフィアン6名の方にお集まりいただき、当時の思い出を語っていただきました(15ページに関連記事)。

瀧野多美子さん(硬式庭球部、1973年卒)

私の経験した第10回の上南戦はいわゆる学生運動まっただ中で、ちょうど上智大学もロックアウトの解除直後でした。大学もグランドも荒れ放題で「どうしようか」という話になりましたが、前の年(1968年)にできたばかりの秦野グランドで開会式をやり、近所の中・高・大学の体育館や市営プールなどを借りて行いました。そんな思い出があります。

武井暁彦さん(水泳部、1980年卒)

うち(水泳部)も今年創部50周年といっているのですが最初は同好会で、最初は上智にプールがなかったものですから上南戦にも参加できなかったようです。しかしあれわれのころは上智が上でまったく負ける気がしませんでした。上南戦は6月ですから、それまで室内の温水プールで練習をしていたわれわれには名古屋に行くとプールがとても冷たく感じられます。加えて南山はわざわざ冷たいプールで泳がせてやれということで水を入れるのです(笑い)。しかし泳ぐと、泳ぎ込んでいるわれわれの方が断然速いのです。

鈴木正彦さん(剣道部、1985年卒)

私のころは、上南戦で上智が勝つのは当たり前という時代でした。その上南戦の思い出は、勝負というよりは上南戦のTシャツですね。新人のころ、それを売られたのです。昼休みのメインストリートで、先輩から「芸をやれ」といわれて、ヤンマーディーゼルの昔からのコマーシャルソングに合わせて「僕の名前は上智、君の名前は南山、みんなで着ようよ上南Tシャツ~」とか振り付けをしながら、歌って踊って売っていたという思い出があります。その思い出のTシャツを今でも持っています。



上南戦が縁で 結ばれたカップル



柴田桂さん

軟式テニス部の柴田桂さん(95年卒)は94年の上南戦(名古屋開催)で、当時南山大学軟式テニス部主務の現在のご主人と出会います。それがきっかけで卒業後につきあいが始まり2004年9月に結婚。

「上南戦といえば昼の試合もさることながら、夜の飲み会対決もなかなか激しく! それを通じてみな仲良しになった気がしています。夫婦ともに今もテニスを続けており、同じ趣味で週末を過ごしています」

Memories ポール・リーチ先生



オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb(ASCAムーブメントWeb)はまだオープンしたばかりですが、ソフィア会がそのメイン・コンテンツにと考えているのが「Memories—恩師への謝辞」。「どのようなページになるのか興味津々」というところだと思いますが、フランス語卒のソフィアンがさっそくその“見本”を作ってくれました。ここにあるのは、80年余りの生涯のうち、45年以上を日本でフランス語教育のために尽力されたポール・リーチ先生への“謝辞”です。リーチ先生との思い出やエピソードが、先生に薰陶を受けたソフィアンの生き生きとした文章で蘇ってきます。ASCAムーブメントWebサイトでは、このようなコンテンツを繰り返し掲載する予定です。



■「忘れぬ慕情」

リーチ師はフランス語教授というより不可能を可能にする手品師でした。一年の終り頃、「日本とフランスで初めての合作映画を作るのですぐ行きなさい」と、松竹大船撮影所に送り込まれ、熱いライトの下に立たされたのは木下恵介監督とイブ・シャンピ監督の間でした。

「お互いに云っている事が分からぬので通訳しなさい」とのことです。仕方なくシャンピの言葉のなかで分かるものだけを自分流に組み合わせて木下さんに伝えましたが、段々お二人の演出が噛み合わなくなつて来たと思われた時、昼食の休憩となりました。

食堂で仲睦まじいシャンピさんと岸恵子さんのテーブルを前に、このままで折角の合作をぶち壊す元凶になりかねないので何とか脱出しなければと考えていたところ、監督から明日ジャン・マレーが入るので彼の所に先に行ってくれとのこと。

翌日マレー氏の所に行くと、撮影に使う犬のことでごねており "Cherchez le chien!"との第一声。「私は通訳で犬探しではない!」と応えた私は、驚く同氏を後に脱出しました。後で松竹はリーチ先生に謝ったようですが、私には2-3日分の通訳料をくれました。完成した映画は「忘れぬ慕情」(Typhon sur Nagasaki)となりました。

30年近くたったある日、偶然山の手線の車内で先生に出くわしたとき、「大船撮影所は潰れました。オモシロイです」と云われ、記憶力の確かさに驚きました。

荒井雄吉(60外仏)



1986年には、日本での永年の功績により日本国勲四等旭日小綬章を授賞

生は、一人ひとりの口に指を突っ込んで、舌を押えたり唇をひっぱつたりして正しい発音を指導してくれた。そこで気になって「先生、トイレのあと手を洗いましたか?」。リーチ師いわく「Les Français ne se lavent pas les mains. (フランス人は手を洗わない)」。

一同トイレに駆け込んでげーーーやったが、後年フランス人に発音を褒められるたびに、リーチ先生の“味”を懐かしく思い出すのである。

細谷博 (63外仏)

■聖書に残された思い出

リーチ先生のギャグ攻撃に晒されたせいか、在学4年間(1960-64)、Molièreの「氣で病む男」、「寝取られ亭主」を演じる破目になった。

1961年の春休み。AUVIT (Amitiés Universitaires entre Viêt Nam, Indochine, Thailande)に参加、菅 佳夫、林 朗也、茂木敬司氏ほか13名でフランス郵船に乗り、香港、ベトナム、マラヤ、タイの大学生と交流できたのはリーチ先生のお陰だ。

1965年の夏、リーチ先生の引率で学生たちと欧州旅行をした。スペインで、早朝ミサの侍者を勤めた晩は、リーチ元伍長殿の従卒に変身。Cervezaとcalamar a la plancha(ビールとヤリイカの鉄板焼き)で酔い痴れ、gitane(フランスのきついタバコ)を燻らせフランメンコを堪能した。

晩年、リーチ神父様はSJハウスで仏語聖書講座を開かれた。随所に書き込みのある聖書(遺品)は私の宝物である。

大野 厚(64外仏)

■ペペ・リーチ

リーチ師の思いがけない面を知ることになったのは、娘達の小学校受験に際してでした。どんな皮肉を言われるかを覚悟していった私たちに「コネ?」と目を剥くかと思いつきや「洗礼の時のあの赤ん坊がこんなになったか」と、目を細め早速力を發揮?して下さいました。その後の好々爺ぶりは私たちを呆然とさせるものがありました。

ポケットにゴミだらけのショコラを忍ばせ娘達が訪ねて行くのを楽しまれたりもしましたが、フランス語を解さない我が家に向かい“Non, mais…”と言葉を継ぎ、シャルダン、アヌイ、ジロドゥから時事問題までフランス人特有の指を振りたてしゃべる様は学生時代のままのリーチ師であります。Monologueの応酬のようになる会話は「フランス語での禅問答」の様を呈し、家人を面白がらせていました。R.I.P.

遠藤貴久子(65外仏)

■リーチ先生の“味”

先の大戦時に人種的同胞に銃を向けなければならなかったフランス陸軍伍長が、無常をカトリック的に解釈して神父になられたのがリーチ先生で、ドーデの「最後の授業」を思い出させるが、リーチ先生の授業は神戸弁で「どーでー?」と言った具合で、文明批評一杯で面白いことこの上なかった一方、大いに困ったことも多々ある。

その極まりがフランス語の発音の秘訣伝授である。我々生徒も一生懸命努力はしているが要領が掴めない。そこでもどかしさも極致に至ったリーチ先



恩師への謝辞

■「風は吹き、雲は流れ…」

教えていただいたフランス語は何一つ頭に残っていないが、自分は坊主である前に教師であるとか、人間である、とか教室で何回か呼ばれたこと、またま差し上げた年賀状には「むちゃくちなフランス語でもよいかから話せ」と叱咤されたことははっきり覚えている。学科での4年間は、先生の一挙手一投足を教室の片隅からじっと眺めていただけだった気がする。

卒業後、長いアフリカでの勤務生活があって、再び先生に接したのは晩年の4年間。大船教会での司牧のお勤めも終え、病気もされ、お年を召され、継ぎの当たったズボンをはいた先生の周りに、かっての教え子たちの姿は少なかった。そして風のように逝ってしまった。恐るべき先生への讃美は「風は吹き、雲は流れ、花は咲く」だろうか。

風間 烈(65外仏)

■リーチ先生の名代

「出る杭は打たれる!それでも出なくてはいけません!」リーチさんには勇気、チャレンジの大切さを教わったと思う。「それでは私の代わりに貴方の先輩の結婚式に行って下さい」。しまった、と思ったがもう遅い。美味しい物を食べたいですか、との質問に常に腹を空かせている寮生として素直にハイと答えた結果がこれだった。その後は用心して、一応リーチさんに挨拶を用意して貰った。顔を見た事もない大先輩はアジア・アフリカ研究所に勤めていた。

披露宴では最初に研究所理事長の祝辞、次に新郎の恩師の名代が指名された。予想された事態でもあったのでフランス語の祝辞を読み上げ、これで役は済んだと思った。ところが、司会が日本語に訳せと云う。四苦八苦の結果、名うての難文が更に難解な日本文になった。宴会場で詰襟姿は私一人だった。

初めて会った優しい顔の先輩は石澤良昭と云う人だった。

田島将男(70外仏)



1960年ごろ、岳野教授と



リーチ先生略歴

履歴・職歴

1912.07.14	フランス国バラン県エショー村に生誕
1933.10	ベルギー、フローレンス高校教員
1938.10	フランス、アミアン高校教員
1942.11	自由フランス軍従軍。ドイツ語通訳官
1943	アルジェリアでイエズス会司祭に叙階
1946.07	フランス、フルヴィエール神学部卒業
1947.06	ベルギー、アンギャン大学大学院神学専攻終了
1948.09	来日
1953.04	上智大学助教授
1954.04	上智大学教授
1958.04	上智大学外国語学部フランス語学科教授
1975.12.01	フランス国教育功労オフィシエ章授章
1978.04	上智大学外国語学部特遇教授
1983.04	上智大学名誉教授。大船カトリック教会司祭
1983.11.24	フランス国レジョン・ドヌール・シュヴァリエ勲章受章
1986.04.29	日本国勲四等旭日小綬章受賞
1995.06.29	S.J.ハウスにて死去

主要著書

1972	『人間を問う作家たち』みすず書房
1975	『現代フランス語法辞典』(共著)大修館書房
1978	『現代フランス類語辞典』(共著)大修館書房
1983	『神を問う作家たち』みすず書房

功績

- 1958年の上智大学外国語学部フランス語学科創設に際しては、人員・カリキュラム等の作成等その中心となった。
- 1964年の東京オリンピックに際しては、組織委員会からの委嘱で学生通訳養成。
- 上智大学教授のかたわら、東京外国语大学、早稲田大学、武藏大学、東京日仏学院で講師としてフランス文学を講義。
- 南ベトナムおよびアンコールワットへの研修旅行、夏季休暇を利用した学生と卒業生の欧州研修旅行をしばしば実施。特に、前者は、上智大学石澤良昭学長のアンコール遺跡の研究と保存事業に発展した。

第1回『オールソフィアンのクリスマス』 現役学生との一体感に包まれたASC

2008年12月8日(月)、ソフィア会は初めての「オールソフィアンのクリスマス(ASC)」を開催しました。準備段階から大学各部局、現役の学生団体に協力を仰ぎ、大学全体でクリスマスを祝おうとの趣旨で参加を呼びかけました。当日は午後5時45分からのクリトルルハイムでの記念ミサ(ドイル師ほかSJ多数による共同司式)の後、午後6時30分からイルミネーション点灯式(カトリック学生の会運営)を行い、キャンドルサービスに導かれて、9号館地下カフェテリアでのパーティに約200人が集いました。

パーティには石澤良昭学長、オロリッシュ学生担当副学長など教職員も多数参加され、ジャズ研究会やゴスペルグループ・サフロファミリーによる演奏にみなが盛り上りました。司会進行、受付などもソフィア会員と学生が協力して行い、卒業生による学生の「就職相談コーナー」も盛況でした。

第1回ASCの大きな収穫は、ソフィア会員と現役学生が一堂に集い、交流を深めることができたということ



クリスマス・イルミネーションのいきさつを紹介する川村信三文学部准教授(左)



クリトルルハイムでの記念ミサに入りきれない人は、メインストリートで点灯式を待つ

です。これを機会に、会員が大学と学生に目を向け、また学生がソフィア会の活動に興味を抱くようになれば、ソフィア会の裾野が広がっていくことでしょう。

協力していただいたすべての方々に改めてお礼申し上げます。今年2009年のASCは、卒業10年(1999年卒業)くらいの若いソフィアンに運営していただきたく、今から実行委員を募集します。お問合せはソフィア会事務局までお願いします。
(オールソフィアンのクリスマス
2008実行委員長 鈴木博文)



外国語学部創立50周年 記念講演会とシンポジウムを開催

外国語学部は、2008年に創立50周年を迎えました。そこで12月13日(土)に、記念講演会およびシンポジウムを開催、1974英語学科卒業生でUNIDO(国連工業開発機関)ウィーン本部事務局次長の浦元義照氏が『地球規模の貧困―多国間協力の必要性と国連の役割』という題で記念講演を行いました。氏は、南北問題および開発問題の根幹には、貧富の差と南の貧しさがあることを指摘し、経済の発展なくして貧困をなくすことはできないことを強調しました。

続いて、旦まゆみ氏(フランス語学科)、漆原朗子氏(英語学科)、内田雅氏(ドイツ語学科)の3人の卒業生による講演が行われ、その後、本学部教員を交えて、外国語学部の「現在(いま)と未来(あした)」というテーマでパネル・ディスカッションが行われました。

外国語学部は、混迷する現代の国際社会で真に活躍できる卒業生を送り出すという大きな責任を担っており、そのためには、単に語学に強いだけでなく、グローバル・イシューを始めとするさまざまな問題と向き合っていける学生を育成していくなければなりません。その意味で、今回の記念講演およびパネル・ディスカッションは、今後、外国語学部が歩むべき道について大いなる示唆を与えてくれたと確信しています。

(外国語学部長 吉田研作)



パネル・ディスカッション



UNIDO(国連工業開発機関)ウィーン本部事務局次長の浦元義照氏が講演。テーマは「地球規模の貧困―多国間協力の必要性と国連の役割」

経験会発足20周年記念講演会を開催 講演会、シンポジウム、パーティに 250名のソフィアンが参加

経済学部の同窓会組織である経験会は2008年11月15日(土)、発足20周年記念講演会および記念祝賀会を開催しました。

会は二部構成で、第一部は午後1時半から基調講演とシンポジウムが10号館講堂で行われました。基調講演で登壇したのは石澤良昭学長で、テーマは「21世紀のソフィア・ミッション―カンボジアにおける人材養成」。

続くシンポジウムでは、蟹瀬誠一氏(74文新)をモデレーターに、石澤学長、ヨゼフ・ビタウ大司教をはじめ、経済学部教授の山崎福壽氏、一橋大学経営大学院教授の石倉洋子氏、経営コンサルタント・作家の神田昌典氏など、各分野で活躍するソフィアンがパネリストとして出席。「地球規模で通用するソフィアンのミッション」というテーマでこれからソフィアンとしての方向性を語りました。



第二部は会場を2号館5階カフェテリアに移し、記念パーティ。グリークラブとOB会による歓迎の歌に続き、経済学部長による乾杯の発声で祝賀会を開始。他の学部卒業生や現役学生も交えた華やかなパーティとなりました。





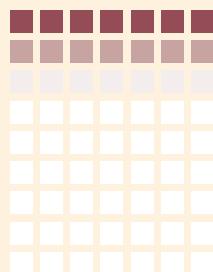
ALL SOPHIANS' FESTIVAL 2009

5月31日(日)
上智大学
四谷キャンパス
(雨天決行)

～オールソフィアンの集い2009～ ソフィアンよ、よく学び、よく遊ぼう

- ■ オールソフィアンの集い(ASF)は、すべてのソフィアンに贈る、年に一度のホームカミングデーです。
- ■ ソフィア会最大の公式行事であるこのお祭りは卒業生と現役学生の有志により企画・運営されています。
- ■ 本年は「ソフィアンよ、よく学び、よく遊ぼう」をテーマに、学生も、ビジネスマンも、ご家族連れも、あらゆる世代のソフィアンが、たとえ一人でもグループでも学び楽しめる場にしていきます。
- ■ そして上智建学の精神「他者のために、他者とともに生きる」に則り、
- ■ より開かれたお祭りを目指します。当日は四谷キャンパスで皆様のお越しをお待ちしています。
- ■ 楽しい一日を過ごしましょう!

ASF2009実行委員会一同



■特別講演

12号館502教室

教育の現場やビジネスの現場などで活躍するソフィアンより、すべてのソフィアンにメッセージを頂きます。事前申込み制です。
ASFホームページ(<http://www.sophiakai.gr.jp/asf2009>)
よりお申し込みください。



MAP



講演1: 水谷 修氏 (1982文哲)
水谷青少年問題研究所 所長

「いま子どもたちは--私たちにできること、しなければならないこと」

時間:11:00～12:30

「夜回り」と呼ばれている、深夜の繁華街で若者の声に耳を傾けるパトロールを続けて15年。多くの悩みを抱え込んでいる若者たちとふれあい、非行防止と更生に取り組み続けています。また、メールや電話による子供たちのさまざまな相談に答え、不登校やこころの病、いじめや自殺などの問題にも関わってきました。「夜回り先生」がすべての大人に伝えます。「私たちにできること、しなければならないこと」とは。

<プロフィール>

1956年、神奈川県横浜市生まれ。83年横浜市立高校教諭となり、92年から定時制高校に勤務。

04年9月辞職。現在は花園大学および関西大学客員教授。

*講演の後に、最新刊「あおぞらの星2」(日本評論社)、「だいじょうぶ」(鎌田實との共著、日本評論社)の販売・サイン会があります。

メインステージイベント

- ▽ 上智大学OBOGはじめ、現役学生による歌や踊りの競演です。
- ▽ 今年は、地元の番町小学校の子供たちも迎えたり懐かしのあの先生が歌ったりと、盛りだくさんの内容になっています。

Slot	Group Name	MAP
11:50-12:40	MC 川島葵(2005文新)	
Opening	ニュースイングジャズオーケストラ カリー先生 オンステージ	
12:55-13:10	ロリポッパーズ(チアリーディング)	
13:15-13:35	サフロファミリー(ゴスペル)	
13:40-14:00	アレグリアス(フラメンコ)	
14:15-14:30	番町小学校BJB(プラスバンド)	
14:45-15:00	ソフィアモダンダンサーズ	
15:15-15:35	中南米研究会(バンド)	
16:00	グリークラブ	
Finare	応援団 (リーダー部、吹奏楽、イーグルス)	



MAP



懐かしい
クリトゥムハイムで
記念撮影は
いかがですか?



MAP

<受付>
11:00～15:00
(先着100組まで)
<費用>
撮影1回500円(写真2枚)



ALL SOPHIANS' FESTIVAL 2009

MAP

5月31日(日)上智大学／四谷キャンパス
(雨天決行)

※グループ集会一覧表はASFホームページ (<http://www.sophiakai.gr.jp/asf2009>)

総合案内

ASF実行委員会本部



MAP

メインステージ

※詳細は7ページ



MAP

■学内ツアー

■場所／総合案内 (ASF実行委員会本部) 前

■時間／11:30～16:00 所要時間約50分



MAP

あなたの記憶に残っている上智大学どんなところでしょう。新しい上智、変わらぬ上智を発見しに一緒に学内を探索してみませんか?当日限定で、普段は立ち入れない場所へご案内します(予定)。ツアーでは最新式の設備をお見せしたりその一方でなつかしい1号館も訪れますので、共に参加された方々との話も弾みます。一人でも大勢でも大歓迎。長い間母校を訪れていない方も、これを機に「お帰りなさい!」



■特別講演

■場所／12-502

※詳細は7ページ



MAP

■産学技術交流会 展示

■場所／12-102 時間／10:00～15:30



MAP

産業界への単なる技術移転でなく、上智らしい社会貢献を目指す大学院理工学研究科の研究成果を展示します。卒業生との新たな連携を創り出し、さらに強化していきます。

■産学技術交流会 講演会

■場所／12-202 時間／10:45～12:20



MAP

●10:45～11:30

大西啓介氏(1993院博理電、ナビタイムジャパン社長)
「ナビタイム成功物語とそのビジネスコンセプト」

●11:35～12:20

牛山 泉氏(1966理機、足利工業大学学長)
「風車が担う未来のエネルギー」

■産学技術交流会 懇親会

■場所／12-102 時間／12:30～13:30



MAP

※軽食あり、参加無料



■「金祝」1959(昭和34)年卒業 パーティ

■場所／2号館5F 教職員食堂 時間／12:30～15:30



MAP

準備委員:

【文哲】新田三千典【文教】蒔苗実【文史】根本順弘【文英】砂原方子
【文独】府川和明【文新】西村雅男、海老名芳行【法法】博田豊
【経経】成川善継、堀樹太郎、濵谷正郎、倉橋久輝、三神喜信
【経商】市川由蔵、阿部一夫、高瀬怜【外英】佐々木寛、山崎貞一
【外独】辻武雄【外仏】大角義郎【外西】豊田正喜

メインステージ

※詳細は7ページ



MAP

■フリーマーケット



MAP

■ASF模擬店 by ソフィア祭実行委員会



MAP

懐かしいキャンパスで旧友やご家族とビール&焼き鳥で楽しいひとときを過ごしませんか?現役学生がお待ちしております。

■もちつき大会by広告研究会OB会



MAP

つきだてのお餅はいかが?飛び入り参加OK、お子様も餅つき体験できます

■ソフィア商店



MAP

Tシャツ文房具など懐かしい「ソフィアンズグッズ」のほか、大人気のソフィアペアなどの「創立100周年記念事業募金グッズ」、さらに今年は「上南戦第50回記念大会グッズ」も販売します。

■セグウェイライド in ソフィア



MAP

■時間／13:00～16:00

※詳細は7ページ



■「銀祝」1984(昭和59)年卒業 パーティ

MAP

準備委員:

【外英】中村寛、小亀俊郎、辻政弘、水谷香、藤井靖彦、岸田美中村美樹、
【外葡】松本恵美子、村上純子【外西】得丸知子【外仏】臼居【外比】堀内真左子【文英】佐藤恵子【文仏】光藤賢【文独】谷野洋子、堀越純子【文社】萩原啓子【文史】河崎紀



●タイムスケジュール

	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
■メインステージ	■										
■ピエロショー(バルーン講習会※)		■		(※)			(※)				
■バペットを作ろう		■									
■ムーブメント・パラシュート		■			12:20~			13:50~			
■ボルブル		■									
■セグウェイライド	■										
■学内ツアーア	■										
■クリトルハイム写真撮影	■										
■特別講演 水谷修さん	■										
■澤田貴司さん	■										
■石倉洋子さん	■										
■ソフトボール大会	■										
■SOPHIANS' BOOK CAFE	■										

■クリトルハイム記念ミサ

■場所／クリトルハイム 時間／9:30－10:15



■クリトルハイム記念撮影

■場所／クリトルハイム 時間／11:00－15:00



■SJガーデンオープンパーティ

■場所／SJガーデン 時間／11:00－15:00



※詳細は10ページ

■金・銀・銅祝式典

■場所／10号館講堂

時間／10:30－11:00

(引き続いて) <ソフィア会定時総会> 11:00－11:50



定時総会は全ソフィアンが対象です。※詳細は15ページ「お知らせ」欄

■銅祝1994(平成6)年卒業パーティ

■場所／11号館地下ラウンジ 時間／13:00－15:00



場所／2号館5F 学生食堂 時間／13:00－15:30



■英語学科STP(Summer Teaching Program)

■40周年記念イベント



場所／3-123, 124 時間／11:00－15:30

小・中学生対象の英語指導「模擬STP」もあります!

※詳細は15ページ「お知らせ」欄

■あつまれキッズ! ソフィアであそぼう

■場所／第一体育場 時間／11:00－15:00



※詳細は10ページ

■ソフトボール大会 Sophia Softball Classic

■場所／真田堀グラウンド野球場 時間／13:30－16:00



飛び入り大歓迎! 世代を超えてソフトボール大会を楽しみましょう!

参加申し込みはホームページまたは当日、総合案内へ

■The Sophians' Quilt Society

■場所／1-106 時間／11:00－15:30



キルトの展示、販売を中心に、フランス菓子、フェルトワークなどとコラボしたバザーを行います。寄附先は国連世界食糧計画(WFP)です。

■ソフィアンズギャラリー

■場所／1-103



絵画、写真、版画、書道、陶芸などの作品をソフィアンの皆様から募集します。故木村元司さん(1972理化)の遺作も展示します。詳しくはソフィア会事務局まで。

■SOPHIANS' BOOK CAFE

■場所／1-104, 105



※詳細は10ページ



ALL SOPHIANS' FESTIVAL 2009

5月31日(日)
上智大学
四谷キャンパス
(雨天決行)

SOPHIANS' BOOK CAFE

久しぶりに学内を歩き回って一息つきたい方は
SOPHIANS' BOOK CAFEへ☆
各方面で活躍するソフィアンの著書を展示、手
にとる事が出来ます。『え?!あの作家さんも同じ
大学!』新しい本との出会いが待っているかも♪



MAP



提供:セグウェイジャパン(株)



MAP

セグウェイライド in ソフィア

“未来の乗り物”として世界的に注目を集めている「セグウェイ」。
重心移動だけで前後左右に走り、スピード調節も可能な小さなハイテク車両です。しかも車より遙かにエコロジー。日本国内にはまだ数百台しかない「セグウェイ」に、あなたも乗ってみませんか? インストラクターが無料で指導します。安心してチャレンジしてください。当日は、アメリカでどのようにして「セグウェイ」が生まれたのか、その開発秘話なども伺います。



MAP

SJガーデンのオープンパーティで 憩いのひとときを

SJガーデンは、都会では珍しい緑にあふれたところ。普段は一般には開放されていません。懐かしいソフィアにいらっしゃった機会に是非、ガーデンにも寄ってみませんか?

今年は色々な方が楽しめるよう、恒例のワインと日本酒の試飲会をはじめ、上智大学茶道部によるお茶会や、ソフトドリンク、デザートの販売もあります。14時からはピエロショーのアトラクションもあります。是非、この機会にご家族や友達と一緒に楽しい一時をガーデンでお過ごしください。

E MAP あつまれKiDS!^{キッズ}/ソフィアであそぼう

キッズ・プログラム

- 子供も大人も大笑い「ピエロショー」
- 絵本のよみきかせと紙芝居「おはなしのへや」
- 世界と日本の絵本展示
- 子供から大人まですぐに楽しめる「どうぶつしようぎ」「パチリコ(囲碁入門)」
- みんな大好き「ぬりえ」「おりがみ」



今年はぜひ、お子様連れでソフィアにお越しください。
一日では遊びきれないほど、
盛りだくさんの内容を用意してお待ちしております。



- 直径7m!巨大な布で何ができる?
みんなで遊ぼう「ムーブメント・パラシュート」
- ボールにおぼれないでね「ボールプール」
- こんなにかわいいパベットができちゃう「パベットを作ろう」
(※参加費500円。先着30名様限定!ホームページにて予約受付)
- 風船で犬を作ろう「バルーン講習会」当日11時より整理券を配布します。

詳しい内容と実施時間などをホームページでご案内しております。
今すぐアクセス!



親子でASFを満喫!モデルコース

(特に記述がない場合、場所は第一体育場です。時間の記載がないプログラムは随時参加していただけるものですが、なお、プログラムの進行状況によってはこの通りに回れない場合もありますので当日ご確認ください。)

●パベットコース

「パベットを作ろう」を予約(事前に)▶「ピエロショー」(11:10~)▶「おはなしのへや」(11:30~)▶つきたてのお餅や焼き鳥で昼食(メンスト)▶「パラシュート」で遊ぶ▶「デザートや抹茶を味わう(SJガーデン)▶「パベットを作ろう」(13:00~)

●じっくり遊ぼうコース

「どうぶつしようぎ」「パチリコ」「ぬりえ」「おりがみ」で遊ぶ(11:00~12:40)▶昼食(メンスト)▶世界と日本の絵本を好きだけ読む▶「バルーン講習会」(13:30~)▶「デザートを食べながら「ピエロショー」(14:00~、SJガーデン)▶「おはなしのへや」(14:30~)

■お問い合わせ先 ~疑問・質問はこちらまで~
ソフィア会事務局 TEL 03-3238-3041
URL:<http://www.sophiakai.gr.jp/asf2009/>

☆2010年オールソフィアンフェスティバルの
企画委員も募集中です!

母校への貢献

ソフィア会はあらゆる手段で、みなさまの思いを大学に伝えます



上智大学創立100周年（2013年）記念事業の募金活動がスタートして、さまざまなソフィアンの会合でも「募金」が話題になっています。個々人が振り込む寄付金については上智学院の「募金ニュース」に詳細が掲載されていますが、募金活動促進以外にもソフィア会は「ネットショッピング」、「ソフィアンズカード」、「募金グッズ」などで母校の100周年記念事業に協力しています。

ネットショッピング募金 ■■■

ソフィア会は、募金のための新たな強力エンジンとして昨年から「ネットショッピング募金」を開始しています。

アマゾンでの書籍購入、ヤフー・ショッピングでの買い物などをソフィア会HPからバナーをクリックして行っていただけと、一定の割合（提携ECサイトにより異なります）でソフィア会にアフィリエイト（成功報酬）金額が入ります。もちろん、会員の皆さまへの特典やポイントは従来通りです。

これまでのネットショッピングをソフィア会HPから行っていただけだけ、それが募金になるというこの仕組み。ソフィアンズカードをお持ちの方は、カードでネット決済をされると、さらにそのポイントが学生の奨学金などの支援につながります。

ソフィア会会員はもちろん、そのご家族、そしてどなたでも、ソフィア会HPでショッピングをお願いします。

ソフィア会ホームページトップから『ネットショッピングで募金ができます!』をクリックしてお進みください。

ネットショッピングで募金ができます!

Amazon.co.jp

ヤフー・ショッピング

楽天

アリババ

募金グッズ ■■■

上智大学校章と創立100周年ロゴをあしらった各種募金グッズを頒布しています。利益はすべて上智大学に寄付しており、その額はすでに500万円に達しています。お求めはソ



**NEW
GOODS**



ソフィベア
上南戦バージョン
登場！

新グッズとして「新ソフィアンズキャップメッシュ」（白・黒・エンジ：税別2,000円）と「第50回上南戦記念ペア」（チアガールペア：3,000円、サッカー選手ペア：2,500円）が加わりました（Sophia Shopとソフィアンズクラブのみで頒布）。

今年の6月5日(金)～7日(日)、上南戦が50回目を迎えるにあたり、ソフィベアも上南戦バージョンで登場。上南戦Tシャツ着用のサッカー選手ペアと応援団チアガールペアの2種類で、それぞれの売上金のうち500円は創立100周年記念事業募金を通して上南戦50回記念大会における学生支援に充てられます。なお、ペア購入の方には、写真の上南戦ロゴマーク入りビニールバッグをプレゼントします。

ソフィアンズカード ■■■

「ソフィアンズカード」は上智大学教職員・卒業生のみが持つことができるクレジットカードです。ご利用額の0.2～0.5%が手数料としてカード会社からソフィア会に支払われ、年約500万円を学生支援のために大学に寄付しています。お申込はソフィア会事務局までご連絡ください。なお、ソフィア会に手数料が支払われても、航空会社のマイレージなど各カードの特典ポイントも得られます。



ソフィアンの 広場

Spring

海外ソフィア会

詳しいレポートはホームページ<http://www.sophiakai.gr.jp/>から「海外ソフィア会」をご覧ください。

ワシントンDC・ソフィア会

開催日:08年10月18日

ご好意により当会の上田さん宅で
さまさまバーベキュー会を開きました。
今回は交換留学でDCエリアに滞在
している現役の学生の方々にもご参
加いただき、学生時代に戻ったような
気持ちにさせてくれるような会になりました。

島川洋子(1997文英)



サンチャゴ・ソフィア会

開催日:08年9月26日

わずか4名で始まった復活後ソフィア会
も今回大台を超えて、12名ものソフィアンが、
チリはサンチャゴの韓国料理屋に
集うという、まさにソフィアらしい国際的な
な会となりました。まだご連絡を頂いて
いない方はぜひこの機会にご一報下さい。

山口太郎(1990外葡)



北京ソフィア会

前回同様、泉澤茂樹さん(1982経営)の経営される「豊泉」にて、ちょうど半
年ぶりに北京ソフィア会を開催しました。駐在員の皆さんには、どうしても滞在期



間の制約があり、なかなか会員情報の更新もままならない面があったのですが、当地にて腰をすえてご活躍されている泉澤さんと大西代祐さん(2003比比)の縦横無尽な情報収集力に期待し、勢力拡大を図りたいと思います。

魏 昊(2005法地)

ミュンヘン・ソフィア会

待降節を迎えた11月最後の週末に、クリスマスマーケットで美しく彩られた
旧市街に程近い和食レストラン「TENNO」にて、毎年恒例のソフィア会を開催しました。今年は初参加者を含め、様々な世代の14名の方に参加いただきました。ミュンヘン在住で、まだソフィア会に参加されていない方は、どうぞご連絡下さい。

連絡先:munich_sophian@yahoo.co.jp



谷口慎二(1993外独)

ソウル・ソフィア会

開催日:08年12月4日

今回は、金正(キムジョン)名誉会長の日本國文化勳章(旭日中綬章)受賞のお祝いと忘年会として開催いたしました。総勢14名の参加で、金正名誉会長より40年に渡る韓日経済交流、上智大学での日々、ピタウ大司教(当時学長)との思い出などご講話を頂き、韓日の最先端で活躍している会員全員が深く感銘を覚えました。

鎌田素吉(1977経緯)



NYソフィア会

開催日:08年12月21日

恒例のクリスマスパーティーは30名を超える参加で、盛況なパーティーとなりました。上智大学への募金も1600ドル集まりました。古谷晴子さん(1989文英)によるピアノ演奏や、石田和子さん(1972文社)による各種のボランティア組織の紹介、岡田圭さん(1981外葡)による「チャブレーン」というお仕事の意義、さらに服部多栄さん(1982外英)による高次脳機能障害を克服するための努力に関するお話などがありました。詳細はNYソフィア会のウェブサイトに掲載されています。

<http://www.newyorksophiakai.com>

植木安弘(1976外露)

シンガポール・ソフィア会

開催日:09年1月13日

現在100名を超えるシンガポール・ソフィア会のメンバーが各方面でご活躍されております。金融危機の影響はこの南国の小さな孤島にも大きく押し寄せてきております。しかしながら周りにはこんなにも多くの先輩・後輩がいること、本当に心強い限りです。

渡辺健一郎(1999院前物理)



フランス・ソフィア会

開催日:09年1月30日

今回は特に当地ソフィア会の活性化の一環として、フランス・ソフィア会のホームページの開設と懇親会(年2回の定例の会以外の交流の場として、テーマ毎にソフィアンが集まる会)が提案され、承認されました。また、服部祐子さん(1968外仏)が「ようこそジャパン」の大使に任命され、さらに諸外国との友好親善に貢献したとして「外務大臣賞」を受賞。

新春フランス・ソフィア会に参加の皆様でお祝いしました。

飯野栄治郎(1968外葡)



サンパウロ・ソフィア会

開催日:09年2月6日

「BRICs」の言葉が世に出で早や5年以上。ビジネスチャンス溢れるサンパウロには、日系企業の駐在員を中心にソフィアンが増加傾向にあります。この日も着任直後の駐在員から法学部一期生の大先輩まで18名が集い、会は大いに盛り上がりました。

連絡先:saopaulo_sophia@yahoo.co.jp



大岩 玲(1998外葡)

デュッセルドルフ・ソフィア会

開催日:09年1月24日

例年より少ない30名少々の集いでしたが、15年ぶりの出席の方、初めての方、並びに家族友人も交え、おしゃべり、トンボラなど楽しみながら時



間が経つも忘れてワイワイ楽しく時間を過ごしました。また、今回は新年会の雰囲気をより盛り上げるために門松、獅子舞も用意。久しぶりに(機械使用ですが)つきたお餅も、会のほうで準備しました。

新井一郎(1981外独)

シカゴ・ソフィア会



開催日:09年2月14日

初めて参加した方が2人いる中、大いに盛り上がりました。例年なく厳しい寒さが続くシカゴではありますが、シカゴ・ソフィア会を今年も盛り上げていこうと参加者全員で誓い、散会いたしました。

千野根貴信(1989年外英)

国内ソフィア会

詳しいレポートはホームページ<http://www.sophiakai.gr.jp/>から「国内ソフィア会」をご覧ください。

藤沢ソフィア会

開催日:08年5月17日

「第8回藤沢ソフィアンの集い」を30名の参加で行いました。総会の後、恒例の「ハワイアン演奏」、女性有志5名による「フラ」、「見て!聞いて!」のコーナーなど時間いっぱい楽しく過ごしました。また、藤沢ソフィア会は「ゴルフコンペ」「歩こう会」「そば打ち」なども行っていて、多くの方が参加しています。



長谷川 裕(1955経総)

立川ソフィア会



開催日:08年9月28日

ソフィアンズクラブにて「第7回立川ソフィア会」を開催いたしました。お忙しい中、星島ソフィア会事務局主事自ら学内を案内してくださり、続く懇親会では14名のソフィアンが、楽しい語らいの時間を持つことができました。 佐藤久男(1960外西)

逗葉ソフィア会



乾杯の合図とともに会が始まる、豪華な料理とお酒を片手に会話が弾みました。アトラクションではマジック、学部別対抗クイズ(ソフィア会や募金に関するもの)、そして

ビンゴ(景品提供者あり)で楽しく過ごした3時間、最後は校歌齊唱で締めくくられました。富山ソフィア会からの祝電も披露されました。 堀 直史(2008院専法2)

香川ソフィア会

1961年卒の大先輩から昨年卒の方まで32名の参加で、上智の歴史が再認識されました。年2回総会、懇談会を開くことに決まり、さらなる参加者を募っていくことになりました。テニス、ゴルフなどの活動等を検討してソフィア精神を大切にしていくことになり、上智創立100周年の行事にも可能な限り参加していくことを決りました。

片山敏明(1966文英)



鎌倉ソフィア会

開催日:08年11月16日

スペイン語学科創設50周年を祝し、テーマは「スペインの午後」。1956年から2007年の卒業生45人が参加。外村敬子さん(1969外西)に「セルバンテスとドン・キホーテ」と題して講演をしていただきました。スペイン語学科第一期卒業生の西山孝さん(1959外西)にギター演奏をご披露いただき、同じくギター参加の鈴木邦子さん(1966外西)、外西の皆様12人のリードで「シェリトリンド」やスペイン民謡を共に歌い、実に楽しい会でした。

関美江子(1977外仏)



岩手ソフィア会

開催日:08年11月22日

岩手ソフィア会は会則、役員を決め、新たにスタートしました。総会は7月から準備に取りかかり、



特に平成年度の若いソフィアンが名簿作成や総会開催に活躍し、これからが楽しみです。懇親会でも昔のソフィア、最近のソフィアについて老若問わず話が弾みました。

齋藤 隆(1961法法)

福岡ソフィア会

開催日:08年12月6日

忘年会を開催しました。初参加の方々に多くご来場いただき、その後の二次会・三次会では、会場の座席確保が困難なほどの異様(!)な結束力で、幹事が嬉しい悲鳴をあげた夜となりました。また、11月の九州ソフィア会でたいへんお世話になった長崎ソフィア会様から、たくさんのワインの差し入れもいただきました。

西村仁宏(1987経営)

開催日:09年1月17日

新妻聖子さん(2003法國)を囲んでの緊急企画・福岡ソフィア会を開催いたしました。新妻聖子さんは、現在博多座にて公演中(現在は公演終了)の「ミス・サイゴン」において、メインアクトのキムを演じる演劇界注目の若手アクトレスです。舞台でのこぼれ話など、普段とはちょっと違う趣向のソフィア会に、参加者誰もが大満足♪ 楽しい時間を過ごすことができました。西村仁宏(1987経営)



各種ソフィア会

詳しいレポートはホームページ<http://www.sophiakai.gr.jp/>から「各種ソフィア会」をご覧ください。

1961年卒・英文科クラス会

開催日:08年6月28日

在学当時は第一学年、第二学年までは英語科・英文科が合同のクラス編成であったことから、毎年11月には合同クラス会が開催される慣わしになっていましたが、今回の英文科のみの集まりではそれなりの意義があり、特に3、4学年の英文科専門のクラスでの想い出は尽きなく、閉会の時間を忘れるほどでした。 飯沼茂樹(1961文英)



1966年入学・英文科クラス会

全員が還暦を迎えたので、久しぶりの一泊の会を箱根で開催。26人が集まり、好天の箱根を満喫しました。ちょうど10回目のクラス会で、当日が誕生日の参加者もあって、シャンパンの栓が飛び交い、ケーキカットで盛り上りました。'66 A8 & A9と当時のクラス番号入りの地味赤Tシャツでの記念写真です。

石井悦子(1970文英)



ワンゲルOB会

開催日:08年9月13日~14日

毎年恒例になっているOB会山行が、今年は湯の丸高原(長野県東御市)で行なわれました。参加者は家族も含めて42名でした。13日は4時に湯の丸高原ホテルに集合し、6時から全員で懇親会、その後2次会を行い、旧交を温めました。14日は湯の丸山(2,101m)に登りました。

東條仁英(1962外独)



1965年卒・独文クラス会

開催日:08年11月8日

今年はなんと在籍30名(海外居住者を含む)のうち、17名(昨年も17名出席)の出席となり、過半数を超えて大変賑やかなクラス会となりました。その中には大手術を乗り越えて元気になった仲間や、遠いドイツに永住しているのに、わざわざクラス会の日に帰国の日程を合わせて出席してくれた女性会員もいました。

景山豪(1965文独)



碁鷲会

開催日:08年11月29日

恒例の「第9回オールソフィアンズ囲碁大会」が「ダイヤモンド囲碁サロン」(千代田区)で開催されました。遠く群馬県や、コペンハーゲンから帰国中のソフィアン棋士も馳せ参じ、四段以上六段までの名人戦7名、二段・三段による本坊戦9名、初段・級位者による碁鷲戦5名により熱戦が繰り広げられ、参加者はたっぷりと囲碁対局を堪能しました。

古屋毅(1957経商)



不作会(1957文新クラス会)

11月末、箱根の強羅温泉で開催し、7人が参加しました。私たちが卒業した昭和32年は、神武景気と岩戸景気の狭間で、不況のため就職状況が良くありませんでした。それで、当時の新聞学科長の小野秀雄先生が「今年は不作じゃのう」とおっしゃったことから、「不作会」と名づけられました。今は、ほとんどが現役を離れましたが元気です。“落葉踏み 箱根路を行く 不作会” 磯浦康二(1957文新)

花の英文科77-20&21クラス忘年会

開催日:08年12月6日

四谷の「天狗」で「銀祝」以来恒例行事となりました忘年ブチクラス会を開催しました。今回は11名と人数はこじんまりとしていましたが、その分参加メンバーの間で楽しい会話が弾みました♪

詳しくは「上智大学 花の英文科 77-20&21 Reunion Network」に報告を掲載しました。<http://www.sophia-77hananoeibunka.org/> 古川良之(1981文英)

体育会OB会「第15回健康マラソン大会」

開催日:08年12月6日

この大会の特徴は年齢・性別にハンディキャップを設けていることです。そして、タイムと共に完走賞・完歩賞を出しています。毎年これを楽しみに出場してくれるランナーが増えています。優勝は昨年同様なんと75歳の清水一郎さん(1958経商)です。閉会式終了後、大学に戻って懇親会を行い、楽しく語り合いました。

菊地徹(1973経営)



アイセック上智大学委員会40周年記念式典 およびパーティー

開催日:08年11月30日

当日は、創設期にお世話をいたった緒田原清一・元教授から講演をいただいた他、現アイセック理事である菊井高昭・経済学部教授からも祝辞を頂戴しました。また、総勢60名に及ぶ参加者には、創立した大島弘義氏(1970法法)、横山豊氏(1971法法)、また、現役アイセッカー(学生)も参加して世代を超えた盛大の会となりました。

三次啓之(1987経営)



上智関西39会(1964年卒の会)



開催日:09年1月16日

恒例の新年会を「釣鐘倶楽部」で開催。出席は8名。はじめに昨年7月逝去の坂井達雄さん(1964経経)のご冥福とご家族の方々への豊かな慈しみを祈り、その後、鍋をつつき歓談・情報交換。NPOで高齢者講座を立ち上げる人、楽器4重奏で施設訪問をしている人、視覚障害者のマラソン伴走をしている人、がん病棟に入った人、等々。最後はいつもの母校校歌の高唱。

長繩友明(1964外英)

A4三八会新年会

開催日:09年1月10日

中山隆司君(1967経商)が経営する四谷の「三ます」で行われました。今年は長野から志水康伸君(1967経商)、平林昇君(1967法法)の両名が久しぶりに参加し、大いに盛り上りました。恒例の新年会の他に、毎年クラスメンバーの出身地(在住地)を訪ねる旅行を続けており、今年はいよいよドイツのワルナ・恵子さん(1967文哲)、栗原健君(1967経商)を訪問予定。目下、日程・コース等を検討しております。

二瓶武(1967法法)



ソフィアガゼット

開催日:09年2月9日

北川武会長(1959経商)以下21名が「ソフィアンズクラブ」に参集し、勉強会と恒例の懇親パーティーを開催しました。勉強会では、創部メンバーひとり、高柳俊一名誉教授(1959文英)の講演「アメリカの市民社会とカトリックの歴史」を開きました。オバマ米大統領就任演説直後のことで、参加者一同、大変有意義な勉強をさせていただきました。



長谷川幹夫(1962外英)

News & Information

英語学科STP (Summer Teaching Program) 40周年記念行事&「カンボジアSTP」 ASFと同時開催

上智大学外国語学部学部長の吉田研作教授が立ち上げられた「STP」が今夏、40周年を迎えます。これを祝し、5月31日のASFにおいて記念行事を開催します。70年代から2000年代の全国各開催地の参加者が集合し、思い出と旧交を温める機会といたします。

また、今年度STPに参加する現役大学生による「模擬STP」や「現在・未来のSTPを報告・提言」、さらには、石澤学長のご支援により今夏より開催予定の「カンボジアSTP」の計画と現地取材の報告も行います。

STP参加経験のない方でも「英語指導」や「奉仕活動」にご関心のある方の参加をお待ちしております。

STP40周年記念行事専用HP
<http://stp40.web.officelive.com/default.aspx>



マスコミ・ソフィア会 第19回コムソフィア賞は 山田五郎さん(82文新)



マスコミ・ソフィア会（会長：濱口浩三、44文新）は、第19回コムソフィア賞を、テレビ、ラジオ、出版界で活躍して若者文化のリーダー的存在である山田五郎（82文新）さんに送ることを決めました。

授賞式と記念講演は5月23日（土）正午から母校12号館1F102教室で行われる総会の席上で行われます。総会の司会、懇親会トークショーは元フジテレビアナウンサーの政井マヤさん（00文社）。懇親会は午後2時半から9号館地下カフェテリアにて開催。

参加希望など、詳しくはホームページ
<http://www.cumsophia.jp/>
をご覧下さい。

上南戦50回記念大会に向か、着々と準備

●文化系サークルも交流

6月5日から開催される上南戦第50回記念大会に向か、上南戦実行委員会の準備も着々と進んでいます。今回は記念大会ということで開会式が代々木第二体育館で行われますが、当日はオープニングゲームとして男子バスケットボールの試合が組まれ、一気に大会を盛り上げるという趣向。また開会式では、上智大学聖歌隊と南山大学スコラ・カントールムが聖歌を披露するというように、今回の上南戦では文化系サークルの交流企画も予定されています。

たとえば、ESSは、5月30日、31日に「Sophia Nan-zan Exchange Meeting」と題した、南山大学ESSとのディベート大会を開催。写真部は上南戦開催期間中に合同写真展、フォークソング愛好会は南山大学の5つの音楽団体と「トップ・オブ・上南戦ファイナル」と題して演奏会を行います。

また法律サークル「青法会」は、6月6日に南山大学「N.L.D～法律学研究会～」と合同で勉強会を実施。例年南山大学と交歓演奏会を行っている吹奏楽研究会（SCB）は5月16日に「上南交歓演奏会」を武蔵野市民文化会館で開催、茶道部と管弦楽団はそれぞれ「お茶会」、「定期演奏会」に南山大学の団体関係者を招待する計画です。

国際スポーツ団体総連合(GAISP) 日本人初の理事誕生

——師岡文男文学部教授（ソフィア会常任委員）

3月25日、米コロラド州デンバーのハイヤットリージェンシーホテルで開催された国際スポーツ団体総連合(GAISP)理事選挙において、世界フライングディスク連盟理事の師岡文男上智大学教授（ソフィア会常任委員、76文史）が理事に選出されました。

GAISPは、世界5大陸40カ国以上に協会をもつ100の国際スポーツ競技連盟が加盟する連盟。オリンピック競技はもちろん、剣道、柔術、囲碁など非オリンピック競技も加盟しており、バラエティック、ユニバーシアード、ワールドゲームズ、ワールドマスターズゲームズ、スペシャルオリンピックスなどの団体も関連団体として加盟しています。加盟団体数と関連国数において世界最大のスポーツ団体といえます。

なお、GAISP理事に日本人が選ばれたのは初めてです（壇上右端が師岡教授）。



グリークラブOB会 創部55周年記念演奏会を 6月28日に開催

上智大学グリークラブOB会は6月28日（日）午後2時から、東京・荻窪の杉並公会堂大ホールにおいて、創部55周年を記念した演奏会を開催します。

グリークラブは1953年11月1日に上智大学1号館講堂で第一回定期演奏会を開催。昨年11月に55周年を迎えたことから記念演奏会を企画し、このほど開催することになったものです。これに合わせてグリークラブOB会は、日本の男声合唱組曲の作曲家として著名な多田武彦氏に記念作品の作曲を委嘱。当日は現役部員とともに、グリークラブOB会が得意としているアルベルト・デュオーパの名曲であり、また難曲としても知られる「荘厳ミサ」などとともに、この多田氏への委嘱作品「百たびののち」も初演します。

またこの演奏会には、現在はすでに廃部されている女声合唱団のOGで組織するOG合唱団も賛助出演。かつての四谷キャンパスで、どこからともなく聞こえてきた“うたごえ”が蘇ります。

入場料は指定席Aが2,000円、同Bが1,500円。詳細はホームページをご覧下さい。<http://www.sophia-glee.com/>

●学生公募のロゴやTシャツも決定、ホームページも

上南戦実行委員会はロゴや恒例となった上南戦Tシャツのデザインを公募していましたが、ロゴは木村絵理佳さん（法環2）、Tシャツは原健朗さん（院理機2年）のデザインに決定しました。約20件の応募作品の中から2段階の審査を経て決定したので、担当者は「シンプルで上南戦のイメージが伝わりやすいデザインを選んだ」といっています。

また、今回の記念大会に向けてホームページも開設しました。

<http://www.johnan-sportsfesta.jp/>

上南戦の歴史から過去の戦績表、最新の試合結果などを掲載しており、放送研究会（SBC）が作成した昨年の上南戦ビデオも掲載しています。



Sophians Now



上智大学創立100周年記念事業 講演会 大学と共に連続講演会をスタート

ソフィア会はこれまでさまざまなテーマで寄附講座や大使講演会、月例講演会などを行ってきました。こうした経験と実績を元に、この5月26日(火)からは上智大学100周年記念事業として大学とソフィア会の共催で、連続講演会をスタートします。

2009年の連続講演会の統一テーマは「ソフィア・ルネッサンス—国際社会への提言」(サブテーマ:新しい時代の社会貢献の在り方とリーダーシップ)。これまでの寄附講座と同様、ソフィア会からの寄附による文化講演会で、社会活動の中核的役割の担い手や、社会起業家(ソーシャル・アントレpreneur)など、国際社会でリーダーシップを發揮し、社会貢献できる人材を育てます。

この講演会では、今年から100周年を迎える2013年までに合計30回の講演を予定。200~300人規模の在学生と卒業生を対象に、各界の第一人者と上智大学出身者を中心とする実業界、教育界、学識経験者から講演者を選択。卒業生へのセカンド・ステージとなります。

第1回は5月26日(火)午後5時半から7時までの予定で、日本総合研究所会長・多摩大学学長・三井物産戦略研究所会長である寺島実郎氏が「世界の潮流と日本の進路—新時代の国際社会における日本の役割と価値観」と題する基調講演を行います。続いて、6月24日(水)にはスペシャルオリンピックス日本名誉会長でソフィア会副会長でもある細川佳代子氏の講演が決定しています。



寺島実郎氏



細川佳代子氏

ピタウ大司教傘寿の会 ピタウ先生 参加者は300人を超える

ソフィア会有志によって、元上智学院理事長・上智大学学長のヨゼフ・ピタウ大司教の80歳のお誕生日をお祝いする「ピタウ大司教の傘寿を祝う会」が、2008年11月21日(金)、上智大学9号館地下カフェテリアで開催されました。

当日は、アルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ駐日ローマ法王特命全権大使、高祖敏明上智学院理事長、緒方貞子国際協力機構(JICA)理事長、西澤潤一首都大学東京学長など(石澤学長はカンボジア出張のため欠席)の来賓をはじめ、多くのソフィアン、教会関係者など300人を越える方々が来場。道傳愛子NHK解説委員(88外英)の司会で、心のこもった会が行われました。

会の最後には、当日の参加費や募金から50万円を実行委員会がピタウ先生に贈呈しましたが、ピタウ先生はそのままその全額を理事長に手渡し、上智大学に寄付されました。



2,851人の新ソフィアンが誕生 学位授与式 3月25日の学位授与式で

上智大学は3月25日、東京・有楽町の東京国際フォーラムAホール(学部)、四谷キャンパス10号館講堂(大学院)で2008年度学位授与式を挙行。学長、理事長、ソフィア会長からお祝いと激励の言葉があり、2,851人が新ソフィア会員として誕生しました。午後の学科集会では、ソフィア会から学位記カバー、ソファインズナウ2008年秋季号および3月卒業生用特別号を配付しました。

生涯メールアドレスを導入

sophia.jp ドメイン「sophia.jp」がソフィア会のコミュニケーション基盤に

ソフィア会は上智大学と共同で、会員が生涯にわたって変わりなく利用できる「生涯アドレス」の配布を開始しました。ドメイン名は「sophia.jp」で、今後はこのドメインで相互コミュニケーションが可能になります。

しかし、一気に会員のみなさまにアドレスを配布することは不可能なため、まずは2009年3月期の卒業生および大学院修了生を対象にアドレスを配布、その後順次全卒業生へと拡大していく計画です。

これまでソフィア会は、卒業生の皆さまから自発的に登録いただいたメールアドレスに対し、メールニュースなどの情報を提供していました。しかしその数は全会員10万人に対して2割弱に留まっており、また会社のアドレスなどの場合は変更も多く、途中で“音信不通”となるケースもありました。

そこで、生涯変わらず使えるアドレスとして、今回の生涯メールアドレスの導入を決めたものです。今後は大学と連携し、このアドレスを基盤とした「ソフィア・コミュニケーション・システム」(仮称)を構築、さまざまな情報発信と相互コミュニケーションを図る考えです。

今後のスケジュール

ソフィア会行事

5月31日(日)	オールソフィアンの集い、金銀銅祝、ソフィア会総会
6月 5日(金)～7日(日)	上南戦第50回記念大会
10月17日(土)	秋季全国代議員会

地域懇談会

この懇談会に合わせ、各地域ソフィア会が会合の開催を予定しています。詳細は、各地域ソフィア会にお問い合わせ下さい。

6月 7日(日)	秋田(秋田キャッスルホテル)
6月13日(土)	東京A(四谷キャンパス) 神・文・経済・外国語学部対象
6月20日(土)	仙台(ホテルJALシティ仙台)
6月21日(日)	新潟(ホテルオークラ新潟)
6月21日(日)	長野(ホテルメトロポリタン長野)
6月27日(土)	東京B(四谷キャンパス) 総合人間科学・法・国際教養・理工学部対象
7月 4日(土)	静岡(ホテルアソシア静岡)
7月12日(日)	金沢(ANAクラウンプラザホテル金沢)
7月12日(日)	松山(松山ワシントンホテルプラザ)
7月12日(日)	広島(リーガロイヤルホテル広島)
7月18日(土)	鹿児島(鹿児島城山觀光ホテル)
7月18日(土)	長崎(長崎全日空ホテルグラバーヒル)
7月19日(日)	福岡(福岡ガーデンパレス)
7月19日(日)	札幌(札幌グランドホテル)
7月25日(土)	大阪(リーガロイヤルホテル)
7月26日(日)	名古屋(名古屋ガーデンパレス)

編集後記

- 上智学院が創立記念事業推進体制を確立。それに合わせ、ソフィア会も「オールソフィアンの100周年ムーブメントWeb」をスタートしました。今回はその内容をトップ記事にしました。
- 4月18日の全国代議員会では、100周年記念事業への積極的参加と募金協力強化も打ち出され、いよいよ上智大学創立100周年に向けてカウントダウンが開始されました。
- 今回のソファインズナウは大学からの配布物に同封しましたので、ソフィアンズナウをホームページで読むご連絡いただいた方にもお届けしています。これによる送料削減分は上智学院に寄付します。
- ソフィア会広報委員会
宍戸周夫(71法法)、手島真理子(73文仏)、鈴木博文(74外英)、菅家ゆかり(81文新)、久保田広美(85外英)、館野真人(95文新)、長島訓子(96文心)、岡田真理子(05法國)